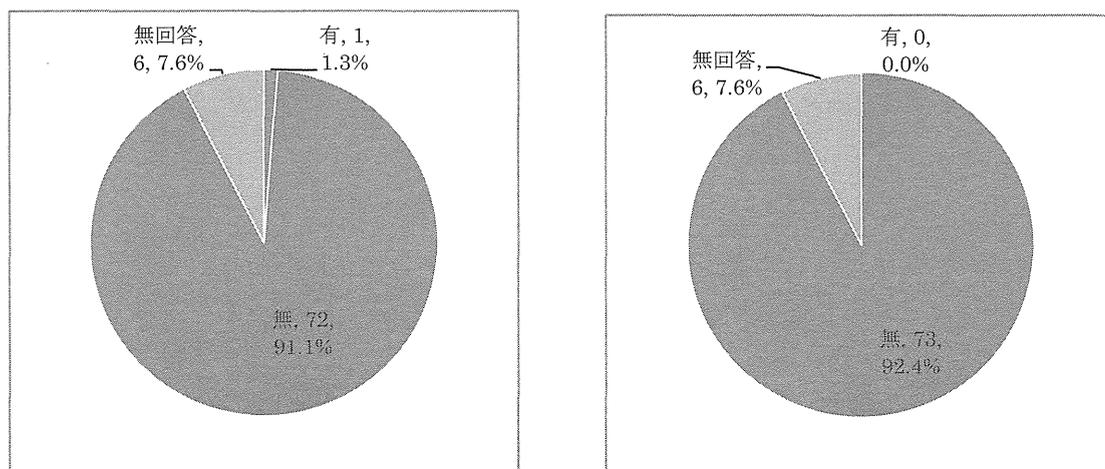


図 8 8 福祉型障害児入所支援  
(相談支援事業利用開始時)



2 6) 医療型障害児入所支援

医療型障害児入所支援の利用について相談支援事業利用開始時では無しが 73 名 (92.4%) であった。一方、現在では無しが 73 名 (92.4%) であった。

このように、相談支援事業利用開始後も医療型障害児入所支援の利用は変化が無い傾向にあった。

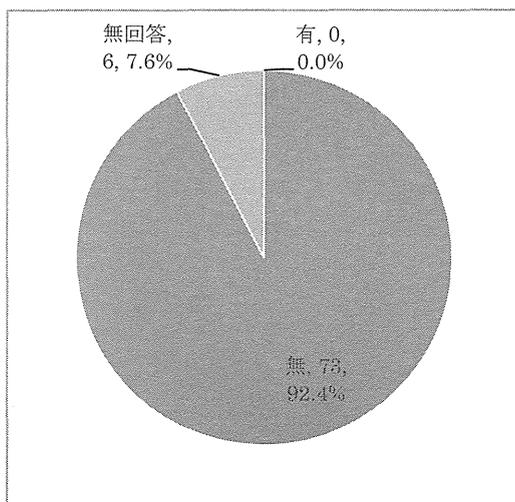
表 1 0 9 福祉型障害児入所支援  
(相談支援事業利用開始時)

	度数	パーセント
有	0	0.0
無	73	92.4
無回答	6	7.6
合計	79	100.0

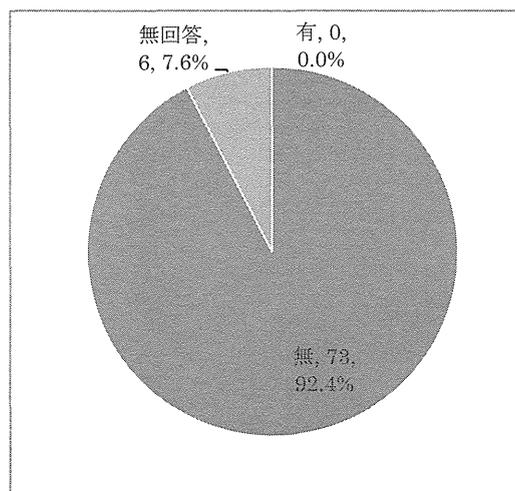
(現在)

	度数	パーセント
有	0	0.0
無	73	92.4
無回答	6	7.6
合計	79	100.0

図 8 9 福祉型障害児入所支援  
(相談支援事業利用開始時)



(現在)



## 2 7) 補装具

補装具の利用について相談支援事業利用開始時では有りが 12 名 (15.2%)、無しが 61 名 (77.2%) であった。一方、現在では有りが 12 名 (15.2%)、無しが 60 名 (75.9%) であった。

このように、相談支援事業利用開始後も補装具の利用はあまり変化が無い傾向にあった。

表 1 1 0 補装具  
(相談支援事業利用開始時)

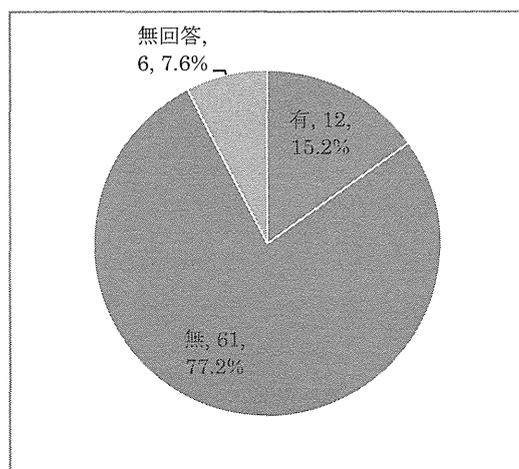
	度数	パーセント
有	12	15.2
無	61	77.2
無回答	6	7.6
合計	79	100.0

(現在)

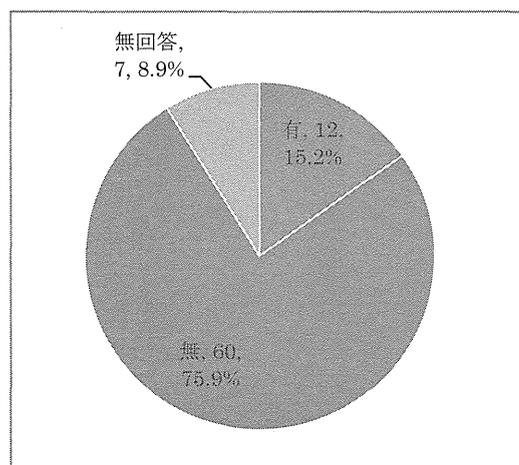
	度数	パーセント
有	12	15.2
無	60	75.9
無回答	7	8.9
合計	79	100.0

図 9 0 補装具

(相談支援事業利用開始時)



(現在)



2 8) 自立支援医療

自立支援医療の利用について相談支援事業利用開始時では有りが 32 名 (40.5%)、無しが 41 名 (51.9%) であった。一方、現在では有りが 38 名 (48.1%)、無しが 35 名 (44.3%) であった。

このように、相談支援事業利用開始後でも自立支援医療の利用はやや増加する傾向にあった。

表 1 1 1 自立支援医療

(相談支援事業利用開始時)

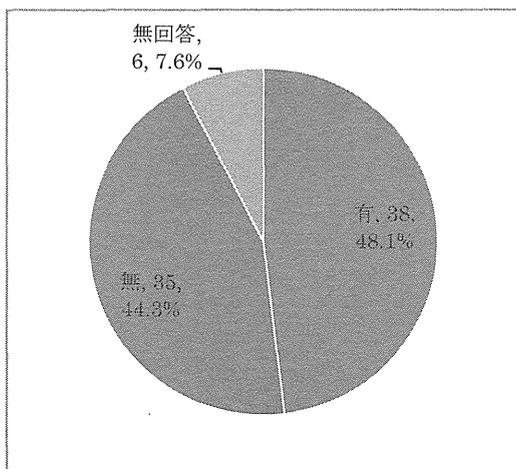
	度数	パーセント
有	32	40.5
無	41	51.9
無回答	6	7.6
合計	79	100.0

(現在)

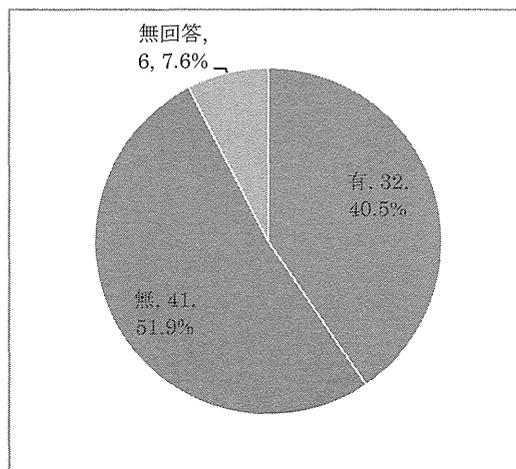
	度数	パーセント
有	38	48.1
無	35	44.3
無回答	6	7.6
合計	79	100.0

図 9 1 自立支援医療

(相談支援事業利用開始時)



(現在)



## 2 9) 住宅改修費の助成

住宅改修費の助成の利用について相談支援事業利用開始時では有りが 2 名 (2.5%)、無しが 72 名 (91.1%) であった。一方、現在では有りが 6 名 (7.6%)、無しが 68 名 (86.1%) であった。

このように、相談支援事業利用開始後でも住宅改修費の助成の利用はやや増加する傾向にあった。

表 1 1 2 住宅改修費の助成

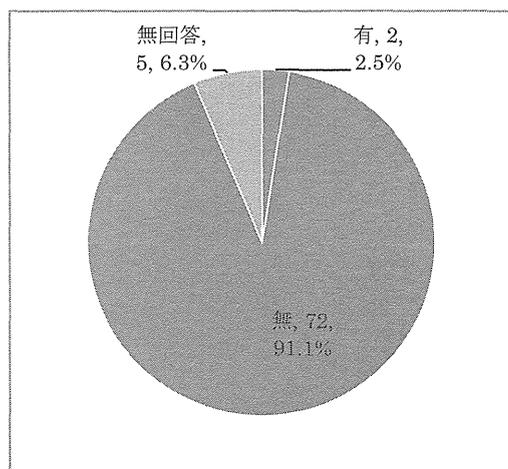
(相談支援事業利用開始時)

	度数	パーセント
有	2	2.5
無	72	91.1
無回答	5	6.3
合計	79	100.0

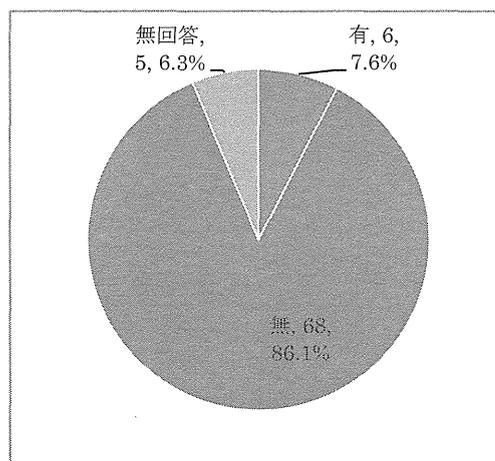
(現在)

	度数	パーセント
有	6	7.6
無	68	86.1
無回答	5	6.3
合計	79	100.0

図 9 2 住宅改修費の助成  
(相談支援事業利用開始時)



(現在)



### 30) 成年後見制度

成年後見制度の利用について相談支援事業利用開始時では無しが73名(92.4%)であった。一方、現在では有りが3名(3.8%)、無しが70名(88.6%)であった。このように、相談支援事業利用開始後も成年後見制度の利用はやや増加する傾向にあった。

表 1 1 3 成年後見制度助成  
(相談支援事業利用開始時)

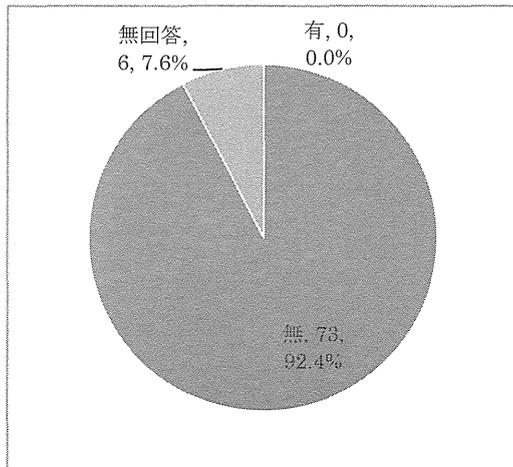
	度数	パーセント
有	0	0.0
無	73	92.4
無回答	6	7.6
合計	79	100.0

(現在)

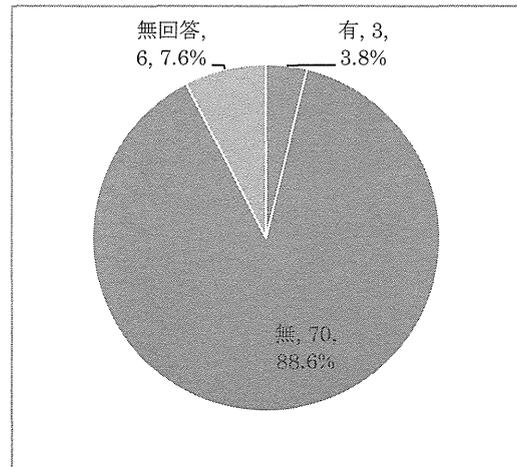
	度数	パーセント
有	3	3.8
無	70	88.6
無回答	6	7.6
合計	79	100.0

図 9 3 成年後見制度

(相談支援事業利用開始時)



(現在)



3 1) 日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業の利用について相談支援事業利用開始時では有りが 3 名 (3.8%)、無しが 71 名 (89.9%) であった。一方、現在では有りが 5 名 (6.3%)、無しが 69 名 (87.3%) であった。

このように、相談支援事業利用開始後も日常生活自立支援事業の利用はやや増加する傾向にあった。

表 1 1 4 日常生活自立支援事業

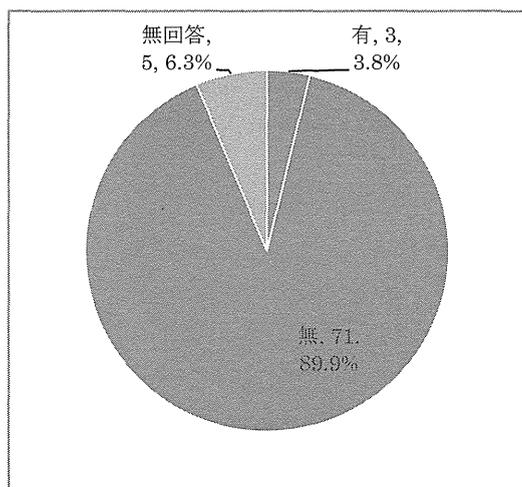
(相談支援事業利用開始時)

	度数	パーセント
有	3	3.8
無	71	89.9
無回答	5	6.3
合計	79	100.0

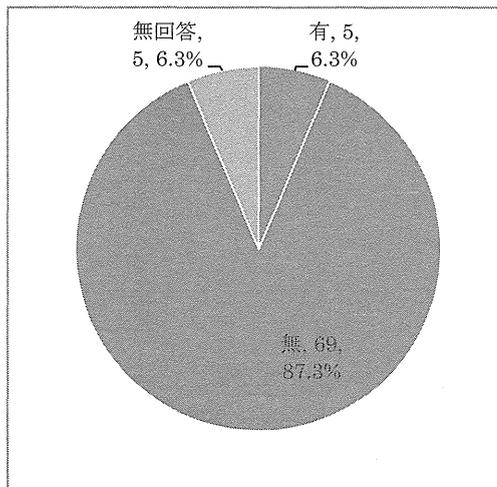
(現在)

	度数	パーセント
有	5	6.3
無	69	87.3
無回答	5	6.3
合計	79	100.0

図 9 4 日常生活自立支援事業  
(相談支援事業利用開始時)



(現在)



### 3 2) ピアサポートやセルフヘルプ

ピアサポートやセルフヘルプの利用について相談支援事業利用開始時では有りが 3 名 (3.8%)、無しが 70 名 (88.6%) であった。一方、現在では有りが 5 名 (6.3%)、無しが 68 名 (86.1%) であった。

このように、相談支援事業利用開始後でもピアサポートやセルフヘルプの利用はやや増加する傾向にあった。

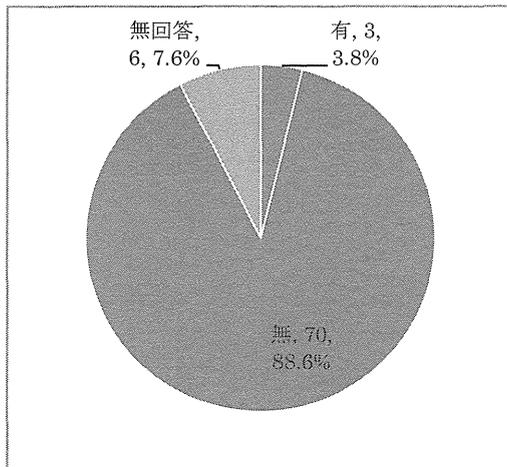
表 1 1 5 ピアサポートやセルフヘルプ  
(相談支援事業利用開始時)

	度数	パーセント
有	3	3.8
無	70	88.6
無回答	6	7.6
合計	79	100.0

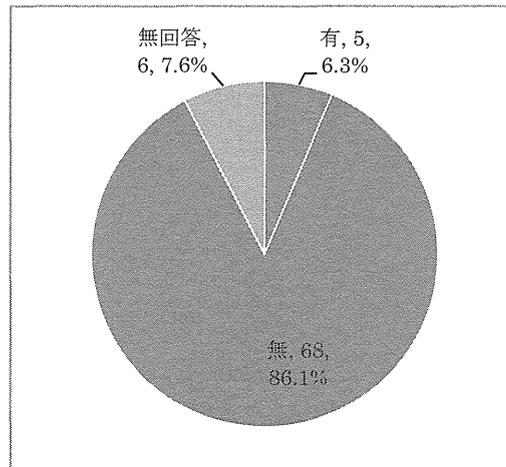
(現在)

	度数	パーセント
有	5	6.3
無	68	86.1
無回答	6	7.6
合計	79	100.0

図 9 5 ピアサポートやセルフヘルプ  
(相談支援事業利用開始時)



(現在)



### 3 3) 近隣等インフォーマルサービス

近隣等インフォーマルサービスの利用について相談支援事業利用開始時では有りが 10 名 (3.8%)、無しが 62 名 (78.5%) であった。一方、現在では有りが 18 名 (22.8%)、無しが 55 名 (69.6%) であった。

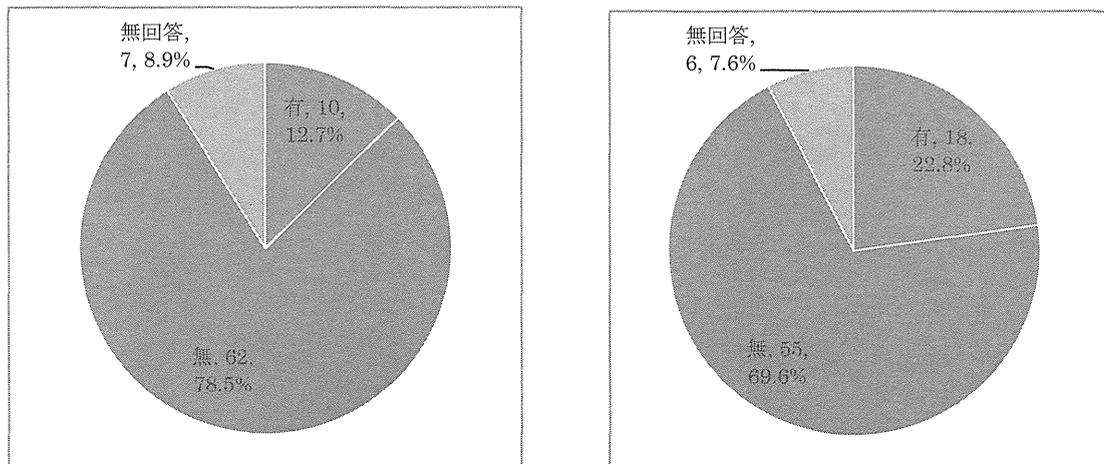
このように、相談支援事業利用開始後も近隣等インフォーマルサービスの利用はやや増加する傾向にあった。

表 1 1 6 近隣等インフォーマルサービス

	度数	パーセント
有	10	12.7
無	62	78.5
無回答	7	8.9
合計	79	100.0

	度数	パーセント
有	18	22.8
無	55	69.6
無回答	6	7.6
合計	79	100.0

図 9 6 近隣等インフォーマルサービス



(18) 対象利用者のサービス利用状況の変化

相談支援事業利用開始時と現在との対象利用者のサービス利用状況を比較したところ、居宅介護（ホームヘルプ）、共同生活援助（グループホーム）、移動支援、近隣等インフォーマルサービスにおいて利用の増加がみられる傾向にあった。

表 1 1 7 対象利用者のサービス利用状況の変化

		利用あり	利用なし
介護給付	居宅介護(ホームヘルプ)	+	-
	重度訪問介護		
	行動援護		
	同行援護		
	重度障害者等包括支援		
	短期入所サービス		
	療養介護		
	生活介護		
	施設入所支援		
	共同生活介護(ケアホーム)		
訓練等給付	自立訓練(機能訓練・生活訓練)		
	就労移行支援		
	就労継続支援(A型)		
	就労継続支援(B型)		
地域生活 支援事業	共同生活援助(グループホーム)	+	-
	コミュニケーション支援事業		
	日常生活用具給付事業		
	移動支援事業	+	-
	地域活動支援センター 福祉ホーム		
障害児施設・事業	児童発達支援		
	医療型児童発達支援		
	放課後等デイサービス		
	保育所等訪問支援		
	福祉型障害児入所施設 医療型障害児入所施設		
補装具	補装具費		
自立支援医療	自立支援医療		
上記以外のサービス	住宅改修費の助成		
	成年後見制度		
	日常生活自立支援事業		
	ピアサポートやセルフヘルプ		
	近隣等インフォーマルサービス	+	

※ それぞれの項目で10%以上の変化があった場合

## (19) 相談支援専門員の職場環境と仕事に対する考え方

職場での勤務状況と環境については、先輩や同僚に仕事上の愚痴・悩み事や相談事などについて話せる、自分が担当しているケースのことで必要に応じてケース会議の開催を提案しているとされる傾向にあった。

仕事に関連する考えについては、相談支援専門員の仕事はやりがいがある仕事であり、今後も継続して続けたいとされる傾向にあった。そして、幅広い知識が必要だとされ、自身の仕事の力量向上のために自主的に研修・教育の機会を活用しているとされる傾向にあった。

最近6か月のうちに感じたことについては、自分は非常に重要な仕事をしてきていると感じる、自分の仕事の中で感情的な問題も冷静に扱っている、利用者のそばでかかわりながら働いた後は気分が良いとされる反面、仕事で精神的な消耗を感じる、自分は働きすぎていると感じるとされる傾向にあった。

### 1) 職場での勤務状況と環境について

先輩や同僚に仕事上の愚痴・悩み事や相談事などについて話せる、自分が担当しているケースのことで必要に応じてケース会議の開催を提案しているとされる傾向にあった。

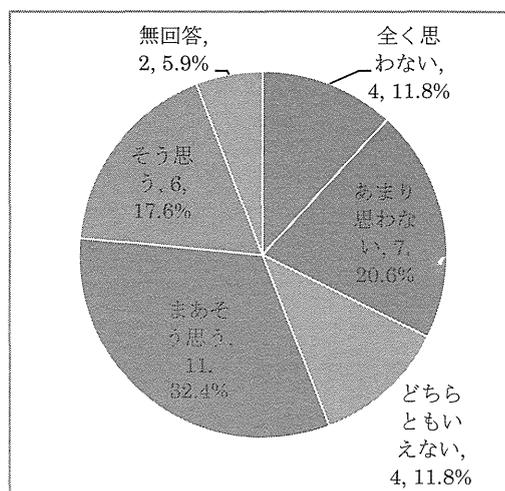
#### ① 上司が仕事の割り当てや計画について明確な指示を出すようになっている

全く思わないが4名(11.8%)、あまり思わないが7名(20.6%)、どちらともいえないが4名(11.8%)、まあそう思うが11名(32.4%)、そう思うが6名(17.6%)であり、まあそう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 1 8 上司が明確な指示を出す

	度数	パーセント
全く思わない	4	11.8
あまり思わない	7	20.6
どちらともいえない	4	11.8
まあそう思う	11	32.4
そう思う	6	17.6
無回答	2	5.9
合計	34	100.0

図 9 7 上司が明確な指示を出す



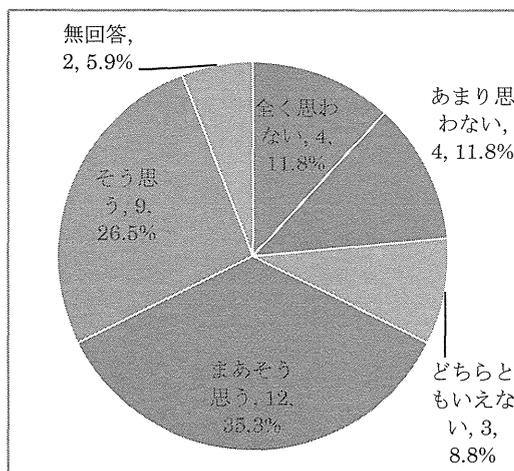
② 担当ケースについて上司や先輩が指導・助言するようになっている

全く思わないが4名(11.8%)、あまり思わないが4名(11.8%)、どちらともいえないが3名(8.8%)、まあそう思うが12名(35.3%)、そう思うが9名(26.5%)であり、まあそう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表119 上司や先輩が指導・助言する

	度数	パーセント
全く思わない	4	11.8
あまり思わない	4	11.8
どちらともいえない	3	8.8
まあそう思う	12	35.3
そう思う	9	26.5
無回答	2	5.9
合計	34	100.0

図98 上司や先輩が指導・助言する



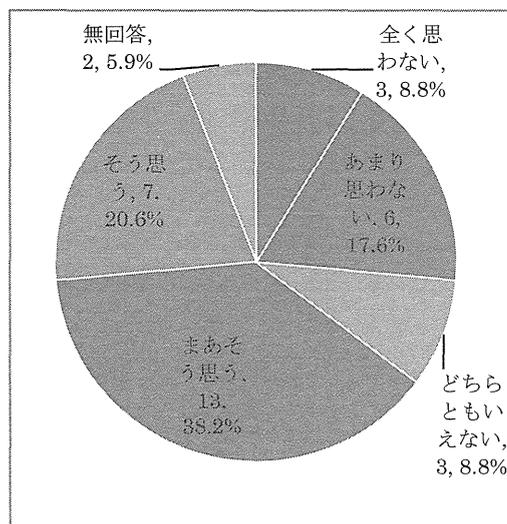
③ 上司から仕事内容の評価についてフィードバックがある

全く思わないが3名(8.8%)、あまり思わないが6名(17.6%)、どちらともいえないが3名(8.8%)、まあそう思うが13名(38.2%)、そう思うが7名(20.6%)であり、まあそう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表120 上司からフィードバックがある

	度数	パーセント
全く思わない	3	8.8
あまり思わない	6	17.6
どちらともいえない	3	8.8
まあそう思う	13	38.2
そう思う	7	20.6
無回答	2	5.9
合計	34	100.0

図99 上司からフィードバックがある



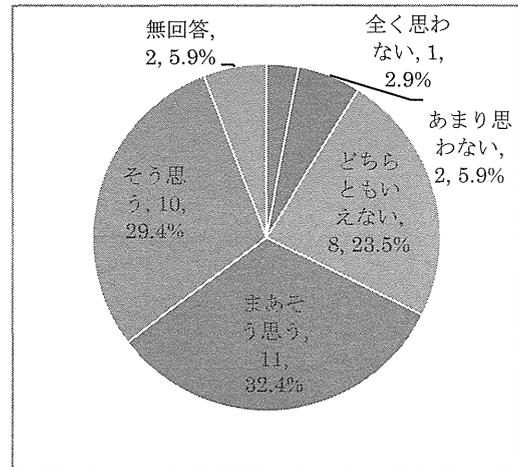
④ 上司に仕事上の悩み事・相談ごとなどについて話せる

全く思わないが1名(2.9%)、あまり思わないが2名(5.9%)、どちらともいえないが8名(23.5%)、まあそう思うが11名(32.4%)、そう思うが10名(29.4%)であり、まあそう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表121 上司に悩み事・相談事を話せる

	度数	パーセント
全く思わない	1	2.9
あまり思わない	2	5.9
どちらともいえない	8	23.5
まあそう思う	11	32.4
そう思う	10	29.4
無回答	2	5.9
合計	34	100.0

図100 上司に悩み事・相談事を話せる



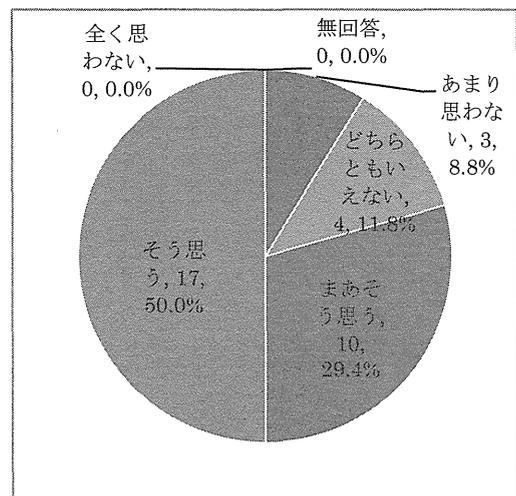
⑤ 先輩や同僚に仕事上の悩み事・相談ごとなどについて話せる

あまり思わないが3名(8.8%)、どちらともいえないが4名(11.8%)、まあそう思うが10名(29.4%)、そう思うが17名(50.0%)であり、そう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表122 先輩や同僚に悩み事など話せる

	度数	パーセント
全く思わない	0	0.0
あまり思わない	3	8.8
どちらともいえない	4	11.8
まあそう思う	10	29.4
そう思う	17	50.0
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図101 先輩や同僚に悩み事など話せる



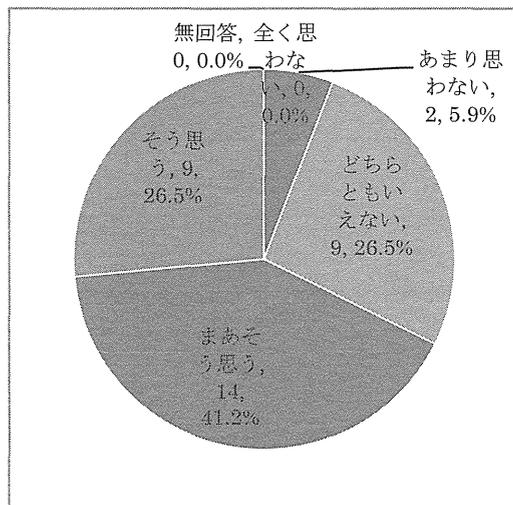
⑥ 先輩や同僚が仕事ぶりを好意的に評価してくれる

あまり思わないが 2 名 (5.9%)、どちらともいえないが 9 名 (26.5%)、まあそう思うが 14 名 (41.2%)、そう思うが 9 名 (26.5%) であり、まあそう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 2 3 仕事ぶりを評価してくれる

	度数	パーセント
全く思わない	0	0.0
あまり思わない	2	5.9
どちらともいえない	9	26.5
まあそう思う	14	41.2
そう思う	9	26.5
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 0 2 仕事ぶりを評価してくれる



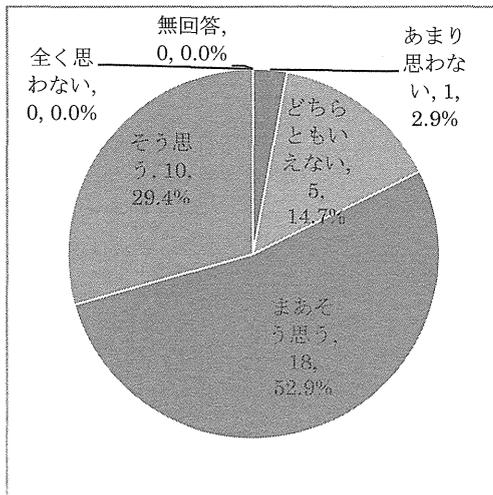
⑦ 職場内のチームワークはうまく機能している

あまり思わないが 1 名 (2.9%)、どちらともいえないが 5 名 (14.7%)、まあそう思うが 18 名 (52.9%)、そう思うが 10 名 (29.4%) であり、まあそう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 2 4 チームワークは機能している

	度数	パーセント
全く思わない	0	0.0
あまり思わない	1	2.9
どちらともいえない	5	14.7
まあそう思う	18	52.9
そう思う	10	29.4
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 0 3 チームワークは機能している



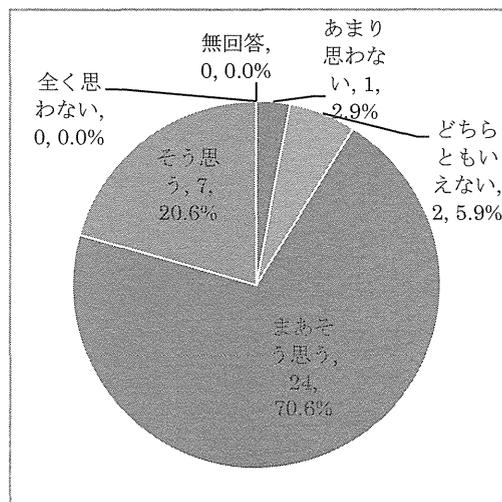
⑧ 関係職種間の連携協力体制はうまく機能している

あまり思わないが1名(2.9%)、どちらともいえないが2名(5.9%)、まあそう思うが24名(70.6%)、そう思うが7名(20.6%)であり、まあそう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表125 連携協力体制は機能している

	度数	パーセント
全く思わない	0	0.0
あまり思わない	1	2.9
どちらともいえない	2	5.9
まあそう思う	24	70.6
そう思う	7	20.6
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図104 連携協力体制は機能している



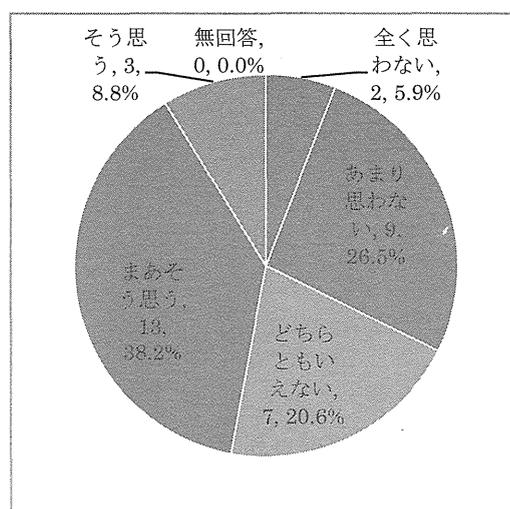
⑨ 緊急時や問題発生時に対応する体制が明確に決められている

全く思わないが4名(5.1%)、あまり思わないが23名(29.1%)、どちらともいえないが13名(16.5%)、まあそう思うが29名(36.7%)、そう思うが10名(12.7%)であり、まあそう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表126 緊急時に対応する体制が明確

	度数	パーセント
全く思わない	2	5.9
あまり思わない	9	26.5
どちらともいえない	7	20.6
まあそう思う	13	38.2
そう思う	3	8.8
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図105 緊急時に対応する体制が明確



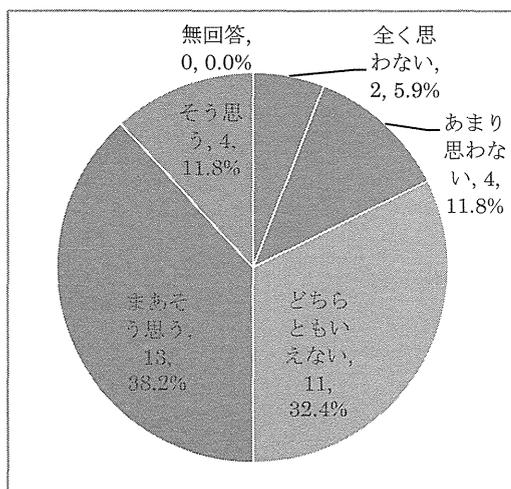
⑩ 職場の福利厚生は適切である

全く思わないが 2 名 (5.9%)、あまり思わないが 4 名 (11.8%)、どちらともいえないが 11 名 (32.4%)、まあそう思うが 13 名 (38.2%)、そう思うが 4 名 (11.8%) であり、まあそう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 2 7 職場の福利厚生は適切である

	度数	パーセント
全く思わない	2	5.9
あまり思わない	4	11.8
どちらともいえない	11	32.4
まあそう思う	13	38.2
そう思う	4	11.8
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 0 6 職場の福利厚生は適切である



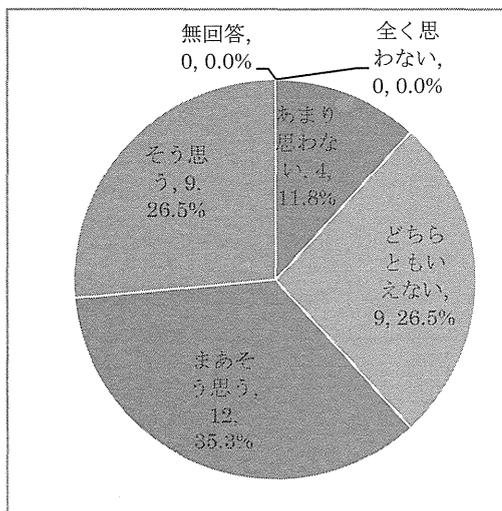
⑪ 職場の研修教育体制は充実している

あまり思わないが 4 名 (11.8%)、どちらともいえないが 9 名 (26.5%)、まあそう思うが 12 名 (35.3%)、そう思うが 9 名 (26.5%) であり、まあそう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 2 8 研修教育体制が充実

	度数	パーセント
全く思わない	0	0.0
あまり思わない	4	11.8
どちらともいえない	9	26.5
まあそう思う	12	35.3
そう思う	9	26.5
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 0 7 研修教育体制が充実



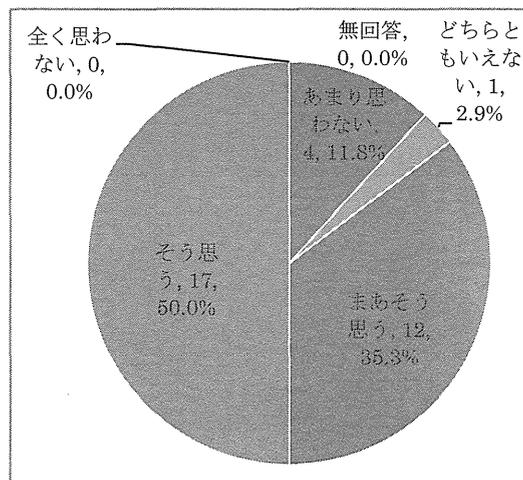
⑫ 担当しているケースのことで必要に応じてケース会議の開催を提案している

あまり思わないが 4 名 (11.8%)、どちらともいえないが 1 名 (2.9%)、まあそう思うが 12 名 (35.3%)、そう思うが 17 名 (50.0%) であり、そう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 2 9 必要によりケース会議の開催

	度数	パーセント
全く思わない	0	0.0
あまり思わない	4	11.8
どちらともいえない	1	2.9
まあそう思う	12	35.3
そう思う	17	50.0
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 0 8 必要によりケース会議の開催



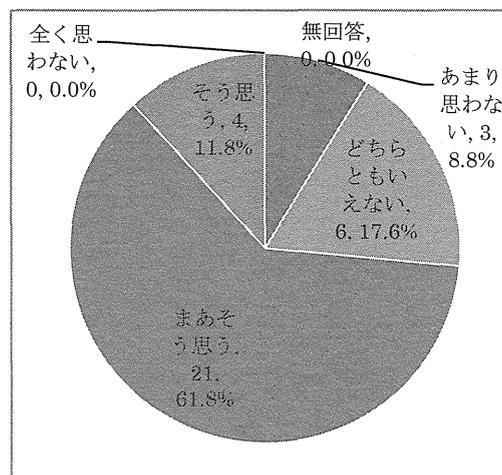
⑬ 仕事上のやり方での変更や工夫について改善提案を行っている

あまり思わない 3 名 (8.8%)、どちらともいえないが 6 名 (17.6%)、まあそう思うが 21 名 (61.6%)、そう思うが 4 名 (11.8%) であり、まあそう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 3 0 仕事上の改善提案を行っている

	度数	パーセント
全く思わない	0	0.0
あまり思わない	3	8.8
どちらともいえない	6	17.6
まあそう思う	21	61.8
そう思う	4	11.8
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 0 9 仕事上の改善提案を行っている



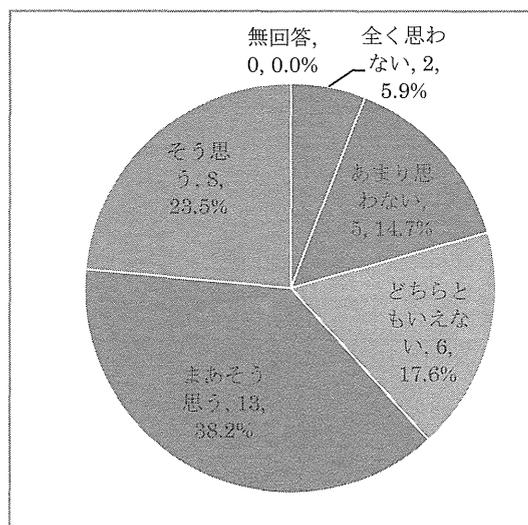
⑭ 同僚や後輩の相談にのっている

全く思わないが 2 名 (5.9%)、あまり思わないが 5 名 (14.7%)、どちらともいえないが 6 名 (17.6%)、まあそう思うが 13 名 (38.2%)、そう思うが 8 名 (23.5%) であり、まあそう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 3 1 同僚や後輩の相談にのる

	度数	パーセント
全く思わない	2	5.9
あまり思わない	5	14.7
どちらともいえない	6	17.6
まあそう思う	13	38.2
そう思う	8	23.5
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 1 0 同僚や後輩の相談にのる



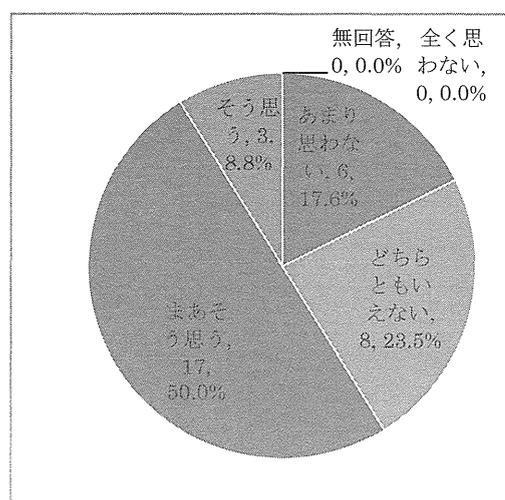
⑮ 果たすべき仕事の範囲を明確に把握している

あまり思わないが 6 名 (17.6%)、どちらともいえないが 8 名 (23.5%)、まあそう思うが 17 名 (50.0%)、そう思うが 3 名 (8.8%) であり、まあそう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 3 2 仕事の範囲を把握している

	度数	パーセント
全く思わない	0	0.0
あまり思わない	6	17.6
どちらともいえない	8	23.5
まあそう思う	17	50.0
そう思う	3	8.8
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 1 1 仕事の範囲を把握している



## 2) 仕事に関連する考え

相談支援専門員の仕事はやりがいがある仕事であり、今後も継続して続けたいとされる傾向にあった。そして、幅広い知識が必要だとされ、自身の仕事の力量向上のために自主的に研修・教育の機会を活用しているとされる傾向にあった。

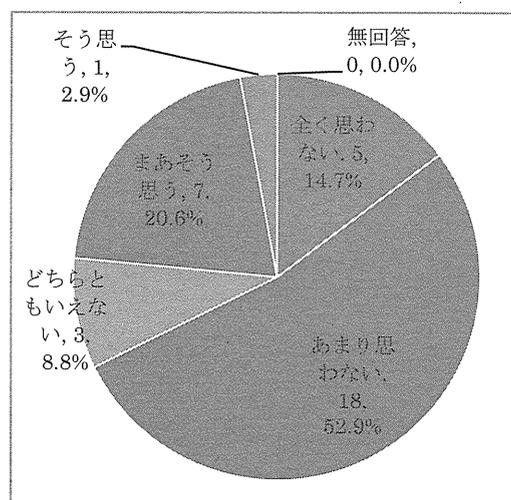
### ① 仕事量は適切である

全く思わないが 5 名 (14.7%)、あまり思わないが 18 名 (52.9%)、どちらともいえないが 3 名 (8.8%)、まあそう思うが 7 名 (20.6%)、そう思うが 1 名 (2.9%) であり、あまり思わないという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 3 3 仕事量は適切である

	度数	パーセント
全く思わない	5	14.7
あまり思わない	18	52.9
どちらともいえない	3	8.8
まあそう思う	7	20.6
そう思う	1	2.9
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 1 2 仕事量は適切である



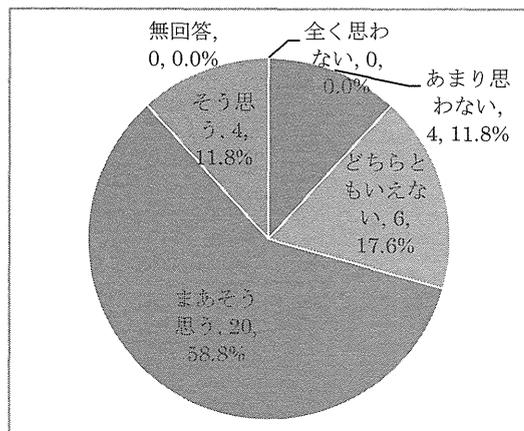
### ② 仕事内容に満足している

あまり思わないが 4 名 (8.9%)、どちらともいえないが 6 名 (17.6%)、まあそう思うが 20 名 (58.8%)、そう思うが 4 名 (11.8%) であり、まあそう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 3 4 仕事内容に満足している

	度数	パーセント
全く思わない	0	0.0
あまり思わない	4	11.8
どちらともいえない	6	17.6
まあそう思う	20	58.8
そう思う	4	11.8
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 1 3 仕事内容に満足している



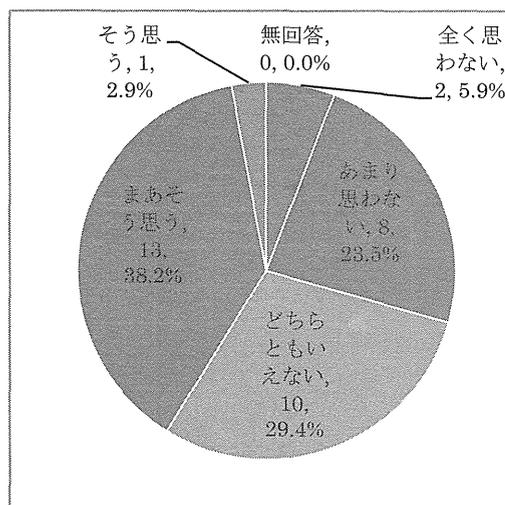
③ 勤務時間や勤務日数に満足している

全く思わないが 2 名 (5.9%)、あまり思わないが 8 名 (23.5%)、どちらともいえないが 10 名 (29.4%)、まあそう思うが 13 名 (38.2%)、そう思うが 1 名 (2.9%) であり、まあそう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 3 5 勤務時間等に満足している

	度数	パーセント
全く思わない	2	5.9
あまり思わない	8	23.5
どちらともいえない	10	29.4
まあそう思う	13	38.2
そう思う	1	2.9
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 1 4 勤務時間等に満足している



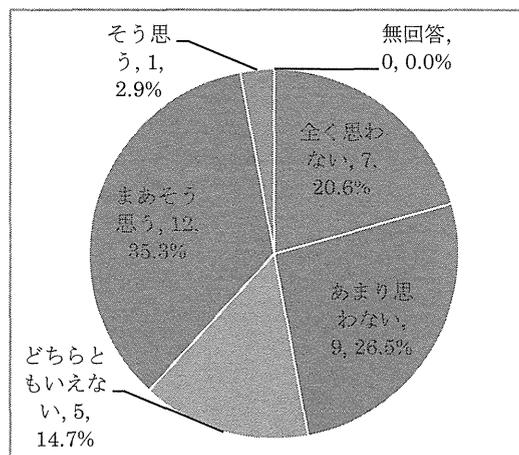
④ 働きに対する収入や手当は見合うものになっている

全く思わないが7名(20.6%)、あまり思わないが9名(26.5%)、どちらともいえないが5名(14.7%)、まあそう思うが12名(35.3%)、そう思うが1名(2.9%)であり、まあそう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 3 6 収入や手当は見合う

	度数	パーセント
全く思わない	7	20.6
あまり思わない	9	26.5
どちらともいえない	5	14.7
まあそう思う	12	35.3
そう思う	1	2.9
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 1 5 収入や手当は見合う



⑤ 仕事以外の生活に満足している

あまり思わないが7名(20.6%)、どちらともいえないが5名(14.7%)、まあそう思うが17名(50.0%)、そう思うが5名(14.7%)であり、まあそう思うという回答の割合が最も高くなっていた。

表 1 3 7 仕事以外の生活に満足している

	度数	パーセント
全く思わない	0	0.0
あまり思わない	7	20.6
どちらともいえない	5	14.7
まあそう思う	17	50.0
そう思う	5	14.7
無回答	0	0.0
合計	34	100.0

図 1 1 6 仕事以外の生活に満足している

